

先端科学技術研究科 修士論文要旨

所属研究室 (主指導教員)	ソーシャル・コンピューティング (荒牧 英治 (教授))		
学籍番号	2011239	提出日	令和 5年 1月 23日
学生氏名	廣田 一輝		
論文題目	Twitterを用いた社会変化の分析手法の提案		
要旨			
SNSのひとつであるTwitterが誕生して数十年が経過した。それに伴い我々の日常に関する発言のログが徐々に蓄えられつつある。しかしながら、Twitterにおける長期間にわたるユーザの発言を時系列的に分析し、人々の関心の変化について詳細に分析した研究は少ない。そこで、本研究ではその変化を定量的に考察するための新たな枠組みを提案し、過去12年間の複数人のTwitterの投稿文を用いて分析、考察を行った。また、具体的には、外部知識と言語モデルを利用した教師あり学習によりTwitterの各投稿文が持つトピック分布を推定し、年単位で投稿文が持つトピック分布の平均をとり、各トピックが持つ割合の増減を可視化した。その結果、人々の関心はトピックごとで異なった推移を見せていることがわかり、特に近年ではコロナの影響を受けて健康に関する投稿が増えている一方で、ユーモアに関する投稿が減っていることが分かった。			